

# 令和6年度 指定管理者 評価報告書

No.	27	評価区分	Ⅱ 観光施設、産業振興施設
施設名	飛騨市流葉交流広場、飛騨市流葉自然休養園（飛騨市自然休養園運動場、飛騨市古畑運動場）	所管課	建築住宅課
指定管理者	流葉観光開発協同組合	地域名	神岡町

## 1 施設の概要

施設所在地	飛騨市神岡町西
設置目的	地域資源を活用した都市住民との交流を通じ、地域の活性化と産業の振興を図る。
施設の概要	人工芝グラウンド1面、クレーグラウンド2面

## 2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成18年4月	募集の方法	公募
評価年度の属する指定期間	令和3年度 ～ 令和7年度（5年間）		
利用料金制	有り		

## 3 職員の配置

配置人員	常勤	0
	非常勤	2

## 4 施設利用者の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数（人）	6,060	9,320	10,750	11,520
前年度増減比（%）		53.8%	15.3%	7.2%

## 5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
利用者数 12,000人	利用者数は10,000人を超えた昨年度から、さらに7.2%の増となった。

## 6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	件数	件
その他の方式	手段	各チームの責任者への聞き取り	件数 3 件
利用者等からの意見と対応		要望・意見・苦情	対応
指定管理者に対する意見	①		
	②		
	③		
市に対する意見	①	人工芝の老朽化。	ライン2箇所、剥がれ箇所（数箇所）の補修を完了。
	②		
	③		

## 7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
市内の小・中・高の先生と連絡を取り、各種大会、練習に利用されている。	ナイター設備はないが、夏季は日没が遅いため夕方2時間を貸し出し、有効に活用している。

## 8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
岐阜県クラブユース戦はR4年度9試合、R5年度11試合、R6年度10試合とほぼ定着してきている。	今後も利用団体とのつながりを大切にしながら運営が行われており、施設の認知度も向上し、大会も着実に定着してきている。

## 9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
利用者からグラウンドの状態を報告していただけるよう「グラウンドコンディション教えてください」用紙を作成し、R7年度から実施するための準備を行った。	実際の利用者からコンディションを確認する仕組みは、現場の状況を的確に把握できる点で非常に効果的である。

## 10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
実質2人の時給職員で賄っているのですが、お互い事故・苦情等がないように申し合わせる程度で、特別研修は行っていない。	電話や日誌により情報共有を行っている。

## 11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な内容
収入	1,602	1,985	1,895	2,153	
指定管理料	946	946	946	966	
利用料金	656	1,039	949	1,186	
純売上高				0	
その他				1	
支出	1,604	2,013	1,878	2,163	
売上原価	0	0	0	0	
人件費	592	744	755	632	
光熱水道費	160	186	188	227	
設備保全費	263	220	154	154	
修繕費	47	245	103	58	
備品消耗品	300	513	315	310	
清掃費	1		5	0	
その他管理費	162	14	292	690	
運営費事務費	49	61	66	92	
その他	30	30	0	0	
指定管理業務収支	△ 2	△ 28	17	△ 10	
自主事業収支					
全体収支	△ 2	△ 28	17	△ 10	
備考					

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

## 12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
「ふれあい協議会」と連携しながら収入確保に取り組み、大規模な大会も安定して開催されるようになった。	夏休み期間だけではなく、通年を通じ安定した利用状況である。

## 13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
職員の高齢化に伴い、重労働を外部に委託するための費用が増加しているが、その分、消耗品などの支出を見直し、全体の経費バランスをとっている。	地元業者の協力を得て対応したことは適切な判断であり、今後の安定した管理にも効果が期待できる。増加した経費については、他のコストの削減で補う努力を期待する。

#### 14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価		前年	評価に対する内容
平等利用の確保(10)	b	(7)	b	受付から利用まで平等利用の確保ができており、協定書の内容に即した運用管理ができています。予約受付解禁日を毎年固定することで、利用団体にも定着している。
施設の効用の発揮(25)	b	(19)	b	「ふれあい協議会」と連携し、地元宿泊施設の利用促進にも取り組むことで、地域経済への貢献につながっている。
安定した管理能力(20)	b	(15)	b	管理15年の実績や関係団体との連携で安定的に管理されている。スタッフの高齢化は否めず、継続的な管理のため重作業については外部に委託している。
経費の縮減(20)	c	(10)	c	スタッフの高齢化により重作業を外部に委託したことにより経費がかさんでいる。今後、消耗品費等の経費削減に期待する。
自主事業等及び各課で定める項目等(25)	b	(19)	c	導入を進めた、グラウンド利用者からコンディションを確認する仕組みは、現場の状況を的確に把握できる点で非常に効果的である。
総合評価	B	(70)	C+	きめ細かな管理運営と利用者への丁寧な対応に努めている。地元宿泊施設との連携を通じて利用促進にもつなげるなど、地域経済への貢献が見られる。